

カーボンフットプリント制度について

2009年12月

経済産業省



METI 経済産業省

カーボンフットプリントの背景

カーボンフットプリント制度とは、製品(サービス含む)のライフサイクル全般(原材料調達から廃棄・リサイクルまで)で排出された温室効果ガスを、地球温暖化に与える影響の程度によりCO₂相当量に換算し、表示する制度。

背景

温室効果ガス排出量の「見える化」による地球温暖化対策

- 「低炭素社会づくり行動計画」(2008年7月29日閣議決定)において、カーボンフットプリント制度等による温室効果ガス排出量の「見える化」について明言
 - ・2008年度中に排出量の算定やその信頼性の確保、表示の方法等に関するガイドラインを取りまとめる。
 - ・2009年度から試行的な導入実験の開始を目指す。
 - ・ISO(国際標準化機構)におけるカーボンフットプリント制度の国際標準化に向けた議論に積極的に貢献する。
- カーボンフットプリントに対する国際的な議論の高まり
 - ・イギリスなどいくつかの国で、カーボンフットプリント制度に関する具体的な取組が始まっている。
 - ・このような動きを受け、ISOにおいてもカーボンフットプリント制度に関する議論が一部の委員会で行われる。

カーボンフットプリントの意義

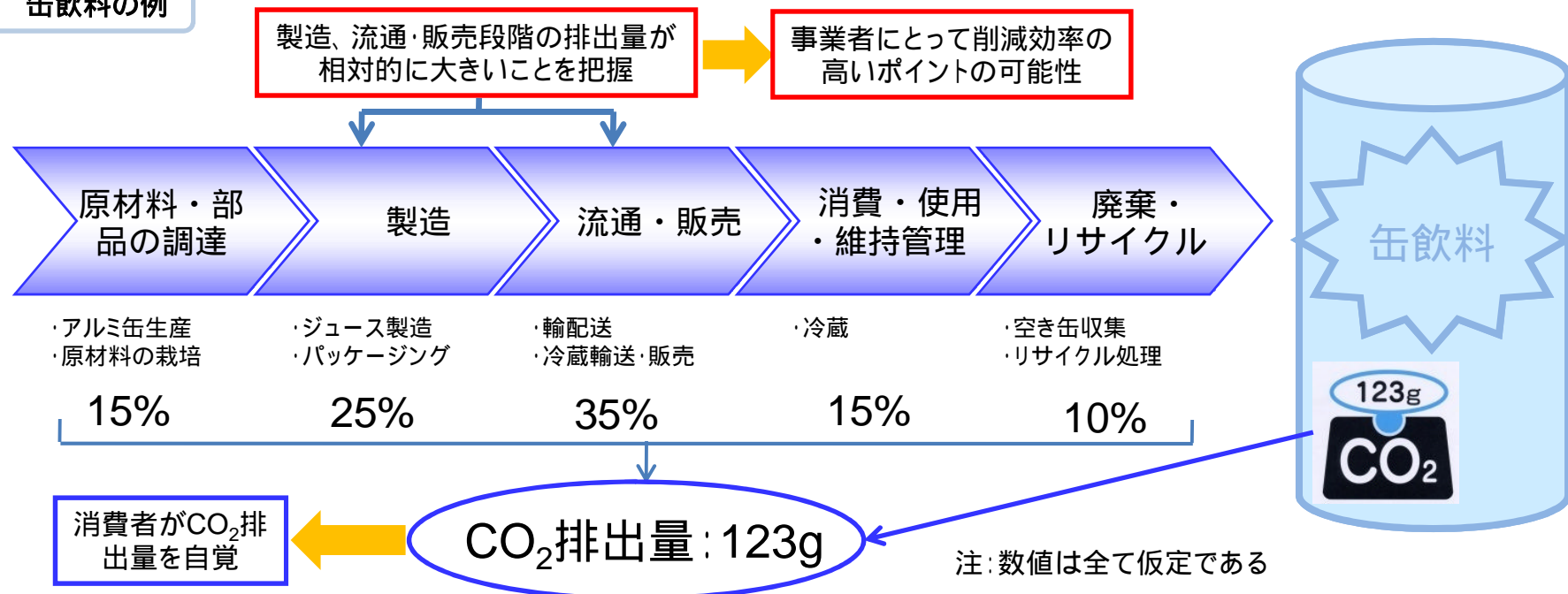
事業者にとっての意義

- サプライチェーン全体の排出量を「見える化」することで、削減効率の高いポイントを把握。事業者単位を超えた一体的な削減対策により、全体最適化を実現。
- 自らの環境負荷低減に対する取組の消費者へのアピール。

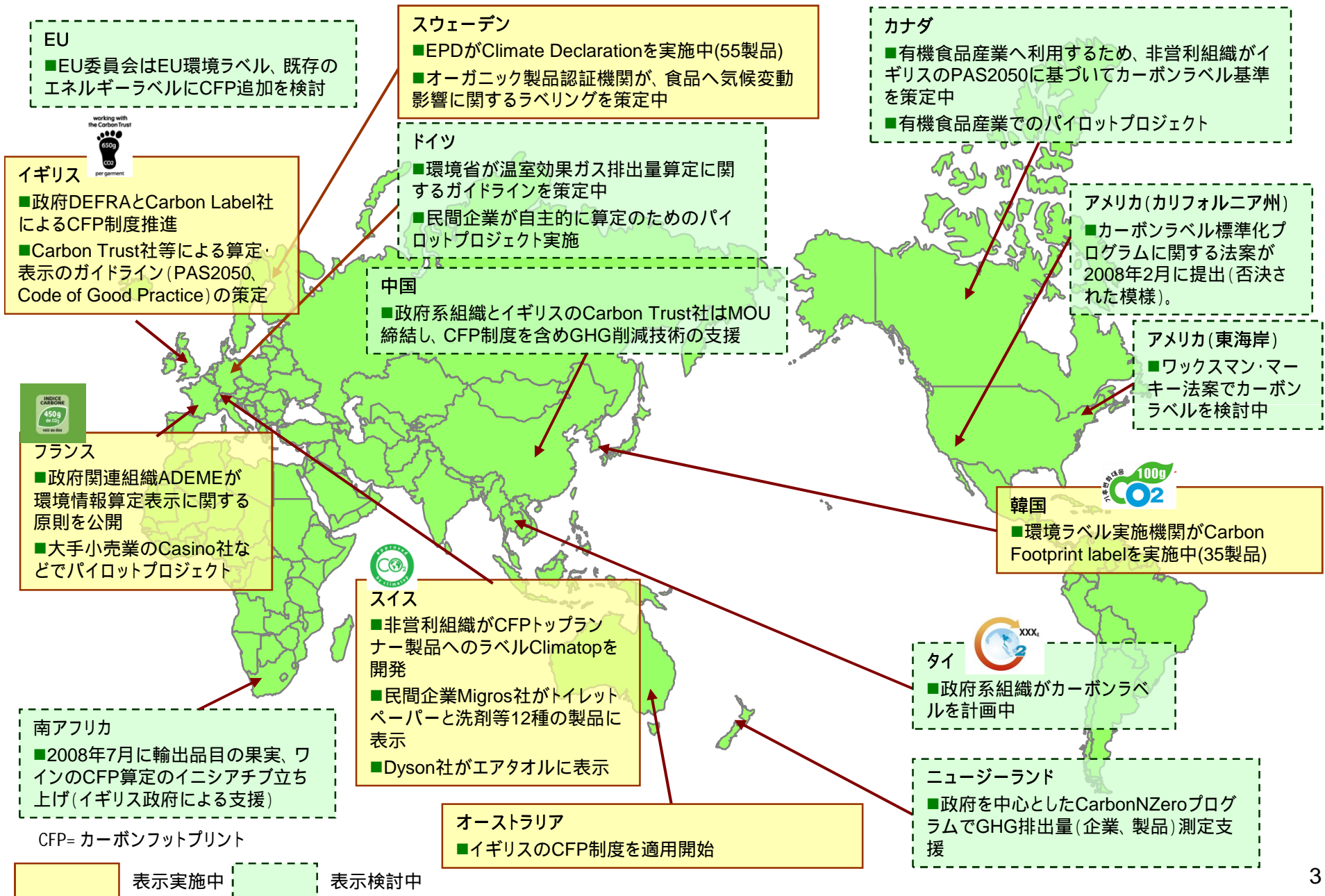
消費者にとっての意義

- 消費者によるCO₂排出量の自覚促進
- 環境負荷低減に向けた適切な情報の提供

➤ 缶飲料の例

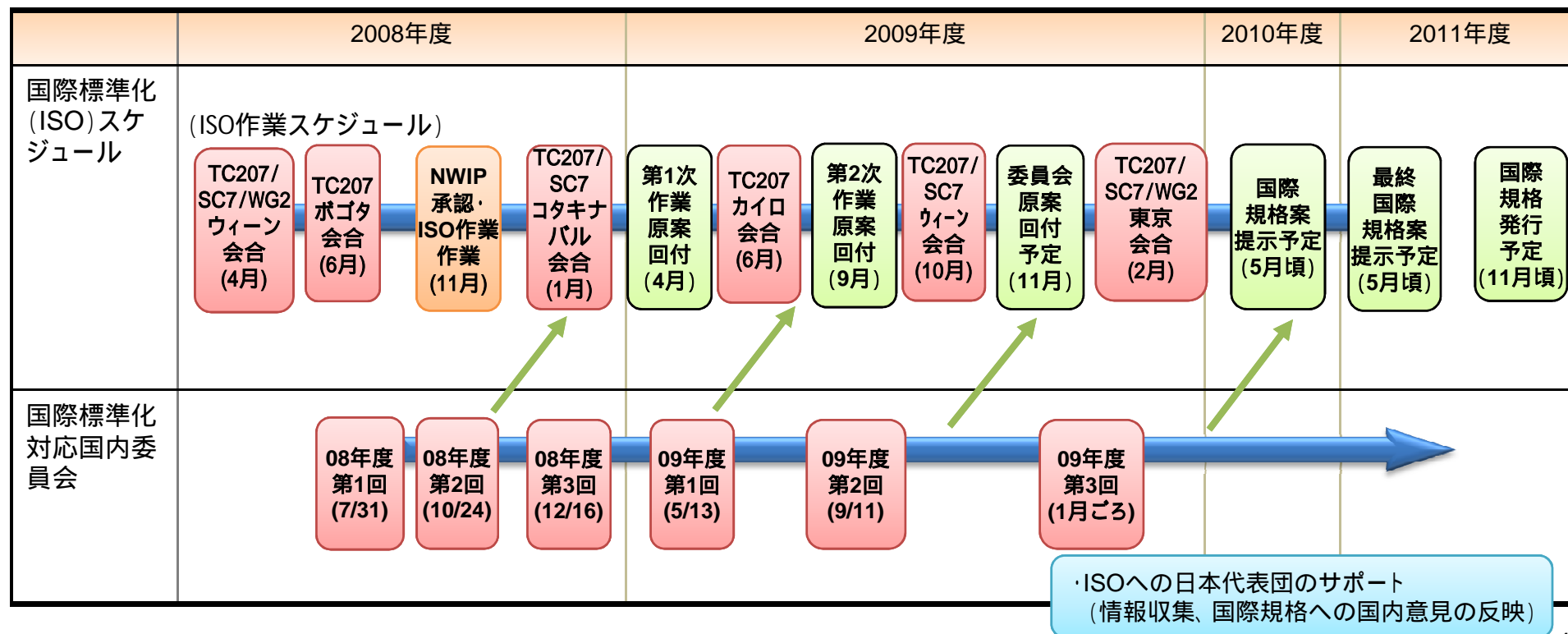


世界各国の政府・民間でのカーボンフットプリントの動き



カーボンフットプリントに係る国際標準化について

- 2007年6月、ISO/TC207(環境マネジメントに関する技術委員会)北京会合でカーボンフットプリントについて最初の議論。
- 2008年6月末のボゴタ会合で、我が国がイギリス、ドイツ、アメリカ等と共同で国際標準化作業開始を提案(NWIP)。加盟国による投票の結果、11月に承認。本格的な規格化作業が始動。
- 2009年1月に第1回WG(ISO/TC207/SC7/WG2)をマレーシアにて、6月に第2回をエジプトにて開催。直近では第3回を10月19日～21日にウィーンにて開催した。第4回は、2010年2月9日～12日に日本にて開催予定。
- NWIP承認後、最大3年間程度の作業期間を経て、2011年11月頃に国際規格を発行予定。
- 我が国としては、市場導入試行事業、研究会等の成果をもとに、国際標準化対応国内委員会にて関係者の意見を集約する体制を整備。制度の普及促進のため、分野ごとの特殊性に配慮したルールを主張する等、国内の取組を踏まえ、積極的に対応。



カーボンフットプリント制度試行事業の今後の進め方

H21/4 ~

試行事業用CO2換算量共通原単位データベース(暫定版)の整備・公表(H21/8/21)

H21/9/14 ~ 全国において開催

カーボンフットプリントの普及啓発(ホームページ開設、説明会開催、カーボンフットプリント日本フォーラム、普及連絡会の開催等)

H21/9/14 設立総会

H21/11/18 第2回開催

カーボンフットプリントのISO(国際標準化機構)における国際標準化に向けた対応の検討・取組

事業者及び消費者への調査結果を踏まえ検討・精緻化

試行事業等をふまえた我が国のスタンスの検討

ルール(算定・表示に関する一般原則(TS Q 0010)等)の改善検討、適宜JIS/TS(*)化

(*) TS(標準仕様書)・・・日本工業標準調査会の審議において、将来JIS制定の可能性があると判断され、公表される標準文書

認証スキームの検討

試行事業により抽出した制度上の
論点・課題について検討会で検討

H21/9/14開始
(随時受付)

カーボンフットプリント算定・表示試行事業
(鋳工業品のPCRについては順次JIS / TS化)

< PCR認定スキーム / CFP算定結果検証スキーム >
(関係省庁が連携)

PCR原案策定計画の策定

PCR原案策定計画の登録

PCR原案の策定

PCR原案の提出

PCR原案の審査・認定

PCR原案が適当と
判断された場合

認定PCR公表

カーボンフットプリント算定

CFP算定結果の検証

CFP算定結果が適当と
判断された場合

CFPマーク付与

CFPマーク表示商品の流通

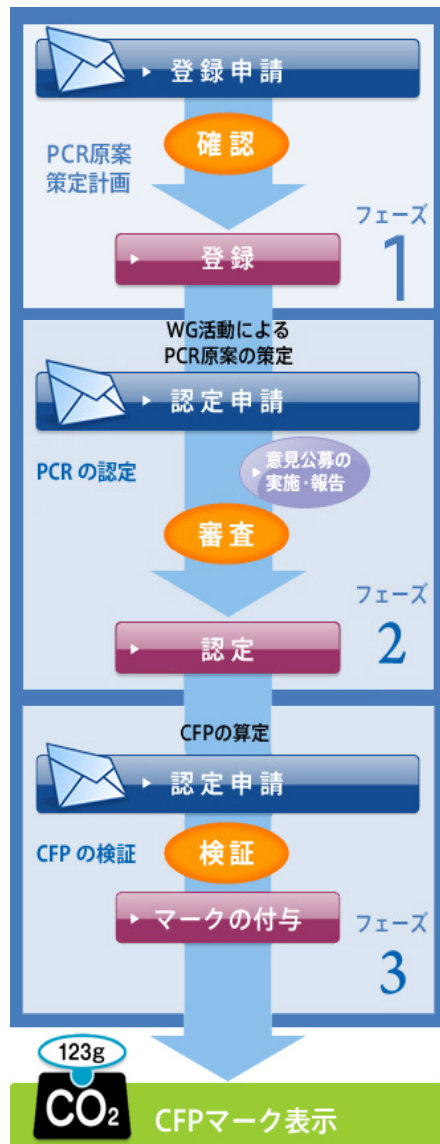
消費者の意識調査

(PCR策定支援: コンサル派遣)

経済産業省、農林水産省等によるPCR原案策定等の支援

・事業者・・・楕円(ピンク)
・METI・委託事業者・・・丸四角(ブルー)
・PCR委員会・・・四角(紫)

カーボンフットプリントマーク付与までの手続きの流れ(概要)



フェーズ1: PCR原案策定計画の登録

・申請者は、カーボンフットプリント制度試行事業事務局へ「PCR原案策定計画登録申請書」を提出

フェーズ2: PCRの認定

・申請者は、カーボンフットプリント制度試行事業事務局へ「PCR認定申請書」と「PCR原案」を提出

フェーズ3: カーボンフットプリントの検証

・申請者が、カーボンフットプリント制度試行事業事務局へ「カーボンフットプリント算定結果・表示方法検証申請書」を提出する。

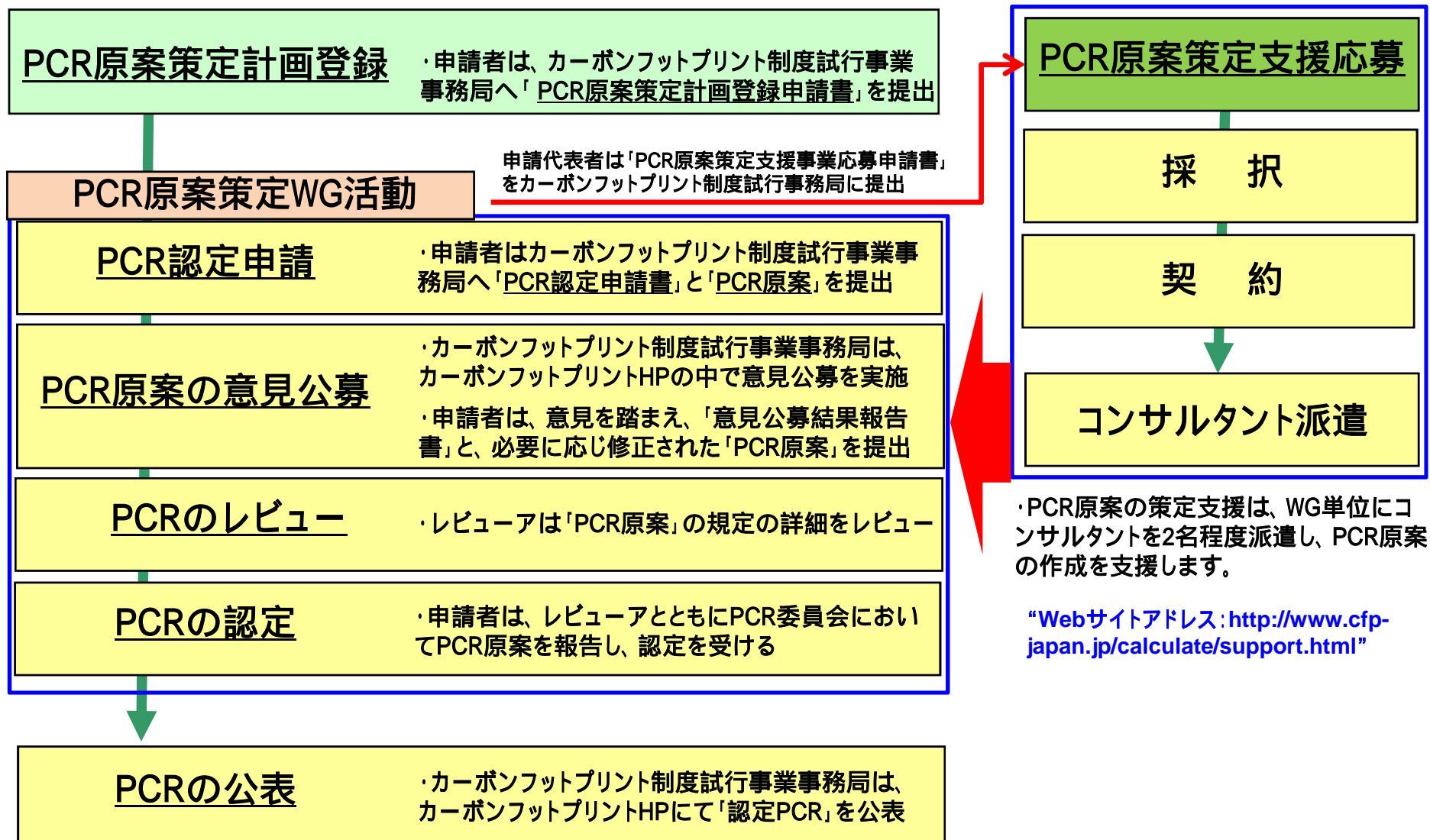
・申請者は、対象製品にカーボンフットプリントマークを表示できる。

PCR原案策定計画登録からPCR認定まで(フェーズ1~2)

< PCR原案の認定までの流れ >

“Webサイトアドレス: <http://www.cfp-japan.jp/calculate/entry/index.html>”

< PCR原案策定支援 >



商品種別算定基準 (PCR: Product Category Rule)とは

PCRの策定

カーボンフットプリントを算定するには、まず、PCRの策定が必要となる。PCRは、同一製品種における、共通の算定基準であり、以下の内容で構成される。

大項目 (例)	小項目 (例)
対象商品・サービスの定義	商品・サービスの種類 算出範囲(ライフサイクル段階、システム境界)
各ライフサイクル段階の設定	各段階で収集するデータ項目 廃棄・リサイクルの考え方(シナリオ設定等) など
LCA計算	使用する原単位 など
表示方法	ラベル表示位置、サイズ 追加表示項目 など

CO2換算量共通原単位データベース(暫定版)の公開について

本共通原単位データベースは、本年度のカーボンフットプリント試行を支援するため、本年8月に公開(データ数は全221項目)。[”Webサイトアドレス: http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html“](http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html)

現在、より網羅性のある共通原単位データベースを構築中であり、1,500項目以上を目標に今年度末に公開することを予定。(抜粋)

番号	大分類	中分類	名称	単位	GHG排出量 kg-CO ₂ e	出典	作成日	補記
1	エネルギー		ガソリンの燃焼	L	2.69E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	N2Oは液体燃料ボイラー燃焼時の数値を適用。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 34.6MJ/L
2	エネルギー		A重油のボイラーでの燃焼	L	2.96E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 39.15MJ/L
3	エネルギー		B重油のボイラーでの燃焼	L	3.06E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 40.4MJ/L
4	エネルギー		C重油のボイラーでの燃焼	L	3.20E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 41.99MJ/L
5	エネルギー		LNGのボイラーでの燃焼	kg	3.21E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 54.57MJ/kg
6	エネルギー		LPGのボイラーでの燃焼	kg	3.47E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 50.4MJ/kg
7	エネルギー		ナフサのボイラーでの燃焼	L	2.42E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 33.56MJ/L
8	エネルギー		軽油のボイラーでの燃焼	L	2.79E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 38.0MJ/L
9	エネルギー		原油のボイラーでの燃焼	L	2.66E+00	燃焼段階: 環境省(2003): 温室効果ガス排出量算定マニュアル 製造段階: 石油産業活性化センター: 「石油製品油種別LCI作成と石油製品環境影響評価調査報告書」(2000)	2009.8.18	ボイラーによる燃焼を想定。燃料製造、燃焼由来の温室効果ガスを含む。高位発熱量: 38.12MJ/L

カーボンフットプリントマークの表示

CO2排出量の絶対値を**単一表示**する。加えて、事業者による排出量削減努力を適切に消費者に伝える観点から、削減率等の追加情報の表示が認められている。

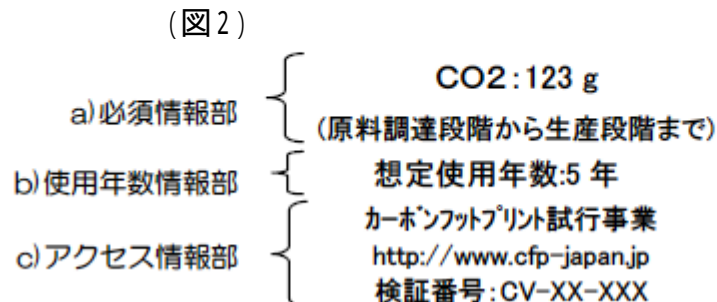
(1) 最終消費財のカーボンフットプリントの表示

最終消費財の場合は、図1に従い、表示すること。



(2) 中間財のカーボンフットプリントの表示

中間財の場合は、図2の例を参考に表示すること。



「カーボンフットプリントマーク等の仕様」より抜粋

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

本年12月3日現在、72製品についてのPCR原案策定計画が登録済み。そのうち、うるち米(ジャポニカ米)、菜種油、衣料用粉末洗剤などの15件のPCR原案は認定済み。

< PCR原案策定計画登録済計画一覧 >

“Webサイトアドレス: http://www.cfp-japan.jp/common/files/seido/pcr_sakutei_tourokuichiran091127.pdf

PCR計画登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-001	平版印刷用PS版 (平版印刷用 PS版(Pre-Sensitized)、CTP版(computer to plate)、 注: 支持体としてアルミニウムを用いる印刷用刷版全般。)	2009年6月15日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AF-01)	富士フィルム株式会社	・富士フィルム株式会社 ・日本アグファ・ゲバルト株式会社 ・東レ株式会社 ・コダック グラフィック コミュニケーションズ株式会社 ・三菱製紙株式会社 ・日本印刷産業連合会
PPR-002	出版・商業印刷物(中間財) (出版社等が販売目的で発行するために作成される「出版印刷物」及び商取引上の宣伝等のために作成される「商業印刷物」。但し、電子出版物(CD-ROM、DVD等)と付録類(電子媒体や試供品等)、POPIは含まない。また、印刷版を使用しないオンデマンド印刷方式で作成するものは対象としない。)	2009年6月15日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AD-01)	社団法人 日本印刷産業連合会	・社団法人日本印刷産業連合会 ・株式会社トーク ・トーソー株式会社 ・東レ株式会社 ・富士フィルム株式会社 ・共同印刷株式会社 ・清水印刷紙工株式会社 ・大日本印刷株式会社 ・図書印刷株式会社 ・凸版印刷株式会社
PPR-003	ガラス製容器 (ガラス製の飲料容器、食料容器、調味料容器、化粧品容器等。 【製品例】: ビールびん、酒びん、牛乳びん、清涼飲料用びん、 滋養飲料用びん、しょう油びん、こしょうびん、化粧用クリームびん等。)	2009年6月24日	2010年2月頃	日本ガラスびん協会	・日本ガラスびん協会 ・石塚硝子株式会社 ・磯矢硝子工業株式会社 ・第一硝子株式会社 ・東洋ガラス株式会社 ・日本耐酸塩工業株式会社 ・日本山村硝子株式会社
PPR-004	プラスチック製容器包装 (プラスチックを主原料とした容器包装材(ボトル、トレイ、パック、 カップ、袋、チューブ、蓋、キャップ、ラベル、梱包材等)で、物品 の輸送、保管、取引、使用等に当たって、価値及び状態を保護 するために施されるもので、個装、内装用、外装用を含む事業者 向け容器包装および、ラップ、ごみ袋等の消費者向け容器包装 を含む。)	2009年7月2日	2009年12月頃	日本プラスチック工業連盟	・塩化ビニリデン衛生協議会 ・全国プラスチック食品容器工業組合 ・社団法人日本印刷産業連合会 ・日本ビニル工業会 ・日本フォームスチレン工業組合 ・日本プラスチック工業連盟 ・日本ポリエチレン製品工業連合会 ・日本ポリオレフィンフィルム工業組合 ・日本ポリプロピレンフィルム工業連合会 ・発泡スチレンシート工業会 ・発泡スチロール再資源化協会 ・社団法人プラスチック処理促進協会 ・PETトレイ協議会 ・PETボトル協議会 ・PETボトルリサイクル推進協議会

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-005	即席めん (小麦粉又はそば粉を主原料とし、これに食塩又はかんすいその他めんの弾力性、粘性等を高めるもの等を加えて練り合わせた後、製めんしたもののうち、添付調味料を添付したもの又は調味料で味付けしたものであって、簡便な調理操作により食用に供するもの。 にかやくを添付したもの。)	2009年7月10日	2009年12月頃	日清食品ホールディングス株式会社	・日清食品ホールディングス株式会社
PPR-006	小売・販売 (領域は、物流センターから消費者の購入まで。(店着から消費者の購入までの領域も選択可。) 食品と非食品で、2～3品目(例:菓子、照明)を事例として取り上げ、PCR原案を策定する。)	2009年7月10日	2009年12月頃	日本チェーンストア協会	・日本チェーンストア協会 ・イオン株式会社 ・ユニー株式会社 ・株式会社西友 ・日本生活協同組合連合会(コープ連合) ・日本フランチャイズチェーン協会
PPR-007	電子体温計 (人の体温を測定して電気信号に変換し、表示する機器。)	2009年7月10日	2009年11月 PCR認定申請中	テルモ株式会社	・テルモ株式会社
PPR-008	清涼飲料 (乳酸菌飲料、乳及び乳製品を除く(酒精分1容量パーセント未満を含有する密封容器入り飲料。))	2009年7月10日	2010年3月頃	社団法人 全国清涼飲料工業会	・社団法人全国清涼飲料工業会 ・日本フランチャイズチェーン協会
PPR-009	その他の文具類 (印章用品、事務用のり、消しゴム、粘着テープ、白墨他)	2009年7月14日	2009年12月頃	社団法人 全日本文具協会	・社団法人 全日本文具協会 ・コクヨS&T 株式会社 ・シャチハタ 株式会社 ・サンスター文具 株式会社 ・株式会社 サクラクレパス ・株式会社 キングジム ・株式会社 ライオン事務器 ・プラスステーションリー 株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-010	ファイル・バインダー (ファイル、バインダー、フォルダ類、上記の部分品)	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定申請中	社団法人 全日本文具協会	<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 全日本文具協会 ・コクヨS&T 株式会社 ・シャチハタ 株式会社 ・サンスター文具 株式会社 ・株式会社 サクラクレパス ・株式会社 キングジム ・株式会社 ライオン事務器 ・プラスステーショナリー 株式会社
PPR-011	プラスチック文具類 (テープ糊、修正テープ、カードケース、プラスチック製定規類他)	2009年7月14日	2009年12月頃	社団法人 全日本文具協会	<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 全日本文具協会 ・コクヨS&T 株式会社 ・シャチハタ 株式会社 ・サンスター文具 株式会社 ・株式会社 サクラクレパス ・株式会社 キングジム ・株式会社 ライオン事務器 ・プラスステーショナリー 株式会社
PPR-012	金属文具類 (クリップ類、穴あけパンチ、金属性ブックスタンド、ステープラ、金属製事務用はさみ他)	2009年7月14日	2009年12月頃	社団法人 全日本文具協会	<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 全日本文具協会 ・コクヨS&T 株式会社 ・シャチハタ 株式会社 ・サンスター文具 株式会社 ・株式会社 サクラクレパス ・株式会社 キングジム ・株式会社 ライオン事務器 ・プラスステーショナリー 株式会社
PPR-013	筆記具類 (ボールペン、マーキングペン、シャープペンシル、万年筆、鉛筆、上記の付属品)	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定申請中	社団法人 全日本文具協会	<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 全日本文具協会 ・コクヨS&T 株式会社 ・シャチハタ 株式会社 ・サンスター文具 株式会社 ・株式会社 サクラクレパス ・株式会社 キングジム ・株式会社 ライオン事務器 ・プラスステーショナリー 株式会社
PPR-014	インスタントコーヒー	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AM-01)	日本インスタントコーヒー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本インスタントコーヒー協会 ・味の素ゼネラルフーズ株式会社 ・キーコーヒー株式会社 ・ネスレ日本株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-015	手すき和紙 (原料として楮(こうぞ)、三桠(みつまた)、雁皮(がんび)及び木材パルプその他の繊維を使用し、古くより日本で生産されてきた伝統的道具と技法を用いて漉いた和紙。)	2009年7月14日	2009年12月頃	全国手すき和紙連合会	・全国手すき和紙連合会 ・NPO法人日本手すき和紙支援協会
PPR-016	うるち米(ジャポニカ米) (精米(無洗米含む)及びその包装、輸送時の中間包装材を含む商品・サービス。炊飯した加工品は除く。)	2009年7月14日	2009年9月 PCR認定済 (PA-AA-01)	イオン株式会社	・イオン株式会社 ・社団法人日本精米工業会 ・秋田おほこ農業協同組合 ・株式会社神明 ・大和産業株式会社 ・株式会社ごはん
PPR-017	パックご飯 (容器のまま、電子レンジ等で加熱するだけで、ごはんが出来上がる無菌米飯。)	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AH-01)	イオン株式会社	・イオン株式会社 ・株式会社 加ト吉 ・社団法人 日本精米工業会
PPR-018	一般照明用ランプ (白熱灯・蛍光灯)	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定申請中	イオン株式会社	・イオン株式会社
PPR-019	小形2次電池 (ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池・リチウムポリマー電池等小形2次電池を対象とする。)	2009年7月14日	2009年11月 PCR認定申請中	イオン株式会社	・イオン株式会社

商品種別算定基準 (P C R) の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-020	菜種油 (菜種を原料とし、家庭で調理、調味に使用するサラダ油)	2009年7月14日	2009年9月 PCR認定済 (PA-AB-01)	イオン株式会社	・イオン株式会社
PPR-021	薬用リサイクルハンドソープ (・原料は廃食用油を高度精製して作った脂肪酸で、石油化学系の界面活性剤は一切使用しない純粋な石鹼成分。 ・お肌に優しく、生分解性の良い環境にもやさしい商品。 ・国内初、廃食用油を原料とした殺菌効果が認められた薬用ハンドソープ。)	2009年7月14日	2009年12月頃	浜田化学株式会社	・浜田化学株式会社
PPR-022	食器 (製品としての繰り返し使用を前提とし、飲食の際に食品を供する事を主目的として製造された器具。 【素材】:陶磁器(陶器・磁器・強化磁器)、樹脂(熱硬化性樹脂(メラミン)、熱可塑性樹脂(PP,PEN,ABS等))、 【製品例】:碗・皿・カップ・箸・スプーン・フォーク・トレイ・哺乳瓶等)	2009年7月21日	2009年11月 PCR認定申請中	三信化工株式会社	・三信化工株式会社 ・朝日化工 株式会社 ・九セラ 株式会社 ・株式会社 三好製作所 ・株式会社 山加商店 ・有限会社 吉田ぬりもの ・株式会社 レーベン販売 ・日本陶磁器産業振興協会 ・日本プラスチック日用品工業組合 ・プラスチック製食器協議会
PPR-023	オフィス家具 (グリーン購入法「オフィス家具等」の対象となる商品、及び、これらに付随する関連商品。例えば、いす、机、棚、収納用什器、ローパー、コートハンガー、傘立て、掲示板、黒板、ホワイトボードとオフィスアクセサリー(ゴミ箱、灰皿、プラントボックス、衝立)等。ただし、電気用品安全法に定める「その他の電気機械器具付家具」に該当する商品で、電気を使用しなければ家具としての機能を果たせないものを除く。)	2009年7月22日	2009年12月 PCR認定済 (PA-AK-01)	社団法人 日本オフィス家具協会 (JOIFA)	・社団法人日本オフィス家具協会 ・株式会社イトーキ ・伊藤喜オールスチール株式会社 ・株式会社サンケイ ・ダイシン工業株式会社 ・日本ファイリング株式会社 ・プラス株式会社 ・株式会社文祥堂 ・株式会社ライオン事務器 ・株式会社くろがね工作所 ・株式会社内田洋行 ・株式会社岡村製作所 ・株式会社クオリ ・コクヨファニチャー株式会社
PPR-024	廃棄物焼却処分サービス (企業や事業所から排出される一般 / 産業 / 特定産業廃棄物を対象とした焼却処理サービス。焼却専用の固形燃料による焼却、発電は含まない。廃棄物の受入れから、路盤材等の副産物の生成、又は最終処分までのプロセスを対象とする。)	2009年7月22日	2009年10月 PCR認定申請中	株式会社ミダックふじの宮	・株式会社ミダックふじの宮 ・株式会社ミダックホールディングス ・三光株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-025	紙及び板紙 (水等の液体中に分散した植物繊維等の繊維を、抄き上げ等の手段により液体から分離し、乾燥し、シート状にしたもの、及びそのシートに塗装、浸透、積層加工したもの。但し、次の項目を満足するもの。 各段階の構成に大きな相違のないこと 焼却した際に、大部分がカーボンニュートラルとなる原材料により構成されている製品 本PCRの策定に係った業界団体(機械すき和紙連合会及び製紙連合会)が所管する製品)	2009年7月22日	2009年12月頃	日本製紙連合会	・日本製紙連合会 ・機械すき和紙連合会
PPR-026	有機質の液体肥料 (生ゴミといった食品残渣等を主要な原料として再資源化して生成したもの。化学合成によって製造された無機質の液体肥料は含まない。)	2009年7月23日	2009年10月 PCR認定申請中	アースサポート株式会社	・アースサポート株式会社 ・マツダ株式会社 ・千曲資源リサイクル事業協同組合 ・株式会社エコみらい ・株式会社船井総合研究所 ・株式会社KDP
PPR-027	荷役・運搬用パレット (輸送や物流等に使用する、荷物を載せる台である。工場やトラック、倉庫等で荷役作業を扱いやすくするためのもので、運搬の際には台上に荷物を載せ、フォークリフトやハンドリフトの爪に差し込んで持ち上げる用途で使用する。)	2009年7月23日	2009年12月頃	エム・エム・プラスチック株式会社	・エム・エム・プラスチック株式会社
PPR-028	紙製容器包装 (主に紙素材からなる容器包装で、物品の輸送、保管、取引、使用などにあたって価値及び状態を保護するために適切に施されるもので、個装、内装用および外装用を含む。 「飲料用紙容器」、「段ボール」と呼称される製品も含むすべての紙製の容器包装を包括する。)	2009年7月27日	2009年12月頃	社団法人日本印刷産業連合会	・社団法人日本印刷産業連合会 ・共同印刷株式会社 ・清水印刷紙工株式会社 ・大日本印刷株式会社 ・凸版印刷株式会社 ・日本紙バック株式会社 ・日本テトラパック株式会社 ・レンゴー株式会社 ・全国段ボール工業組合連合会 ・全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 ・全国クラフト紙袋工業組合 ・日本角底製袋工業組合 ・全国紙管工業組合 ・社団法人日本包装技術協会
PPR-029	企業向け経営管理ソリューションサービス (“企業向け経営管理ソリューションサービス”における“経営管理ソリューション”は一般的に、“人事・給与管理”、“会計管理”、“販売管理”、“生産管理”等といったものが対象となる。)	2009年8月3日	2009年1月頃	株式会社日立製作所	・株式会社日立製作所 ・日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 ・富士通株式会社 ・NEC ・東芝ソリューション ・株式会社リコー ・NTT ・NTTデータ ・社団法人情報サービス産業協会

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-030	企業向けオフィス業務ソリューションサービス (“企業向けオフィス業務ソリューションサービス”における“オフィス業務ソリューション”は一般的に、“TV会議システム”、“業務帳票の電子化”、等といったものが対象となる。)	2009年8月3日	2009年1月頃	株式会社日立製作所	・株式会社日立製作所 ・日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 ・富士通株式会社 ・NEC ・東芝ソリューション ・株式会社リコー ・NTT ・NTTデータ ・社団法人情報サービス産業協会
PPR-031	衣料用粉末洗剤 (天然油脂から造られた、または、石油や油脂を原料として化学的に合成された界面活性剤を主成分とした洗浄剤(ただし、化粧、洗顔、薬用等、人体に使用するものを除く。))の中から、小売業のプライベートブランドの衣料用粉末洗剤をベースにした削減効果を明確にできるPCRを計画している。)	2009年8月3日	2009年9月 PCR認定済 (PA-AC-01)	イオン株式会社	・イオン株式会社
PPR-032	菓子(ポテトチップス、米菓、キャンデー、チョコレート) (・ポテトチップス:契約栽培された原料馬鈴薯を使用した生ポテトチップス ・米菓:うるち米を主原料としサラダ油掛けしたうす焼せんべい ・キャンデー:砂糖と水飴を主原料とし醤油で味付けした飴 ・チョコレート:板状のウェハースをチョコレートで覆ったもので袋もしくは紙製箱入りのもの)	2009年8月12日	2009年10月頃	カルビー株式会社	・カルビー株式会社 ・亀田製菓株式会社 ・カンロ株式会社 ・ネスレ日本株式会社 ・イオン株式会社 ・国分株式会社
PPR-032	菓子 生ポテトチップス (契約栽培された国産馬鈴薯を使用した商品) (契約栽培された原料馬鈴薯を使用した生ポテトチップス)	2009年10月21日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AG-01)	カルビー株式会社	・カルビー株式会社
PPR-047	菓子 米菓(うすく焼きサラダ油掛けした商品) (うるち米を主原料としサラダ油掛けしたうす焼せんべい)	2009年10月21日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AJ-01)	亀田製菓株式会社	・亀田製菓株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-048	菓子 キャンデー(醤油で味付けした商品) (砂糖と水飴を主原料とし醤油で味付けした飴)	2009年10月21日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AE-01)	カンロ株式会社	・カンロ株式会社
PPR-049	菓子 チョコレート(ウェハース入りチョコレート) (板状のウェハースをチョコレートで覆ったもので袋もしくは紙製箱 入りのもの)	2009年10月21日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AL-01)	ネスレ日本株式会社	・ネスレ日本株式会社
PPR-033	専用ダンボール箱を用いた使用済み機密文書の 溶解処理サービス (製紙会社が古紙原料を使用した、使用済み機密文書ダン ボール箱容器を使用した、機密文書の古紙原料化。)	2009年8月12日	2009年11月頃	株式会社タケモト	・株式会社タケモト ・セコム上信越株式会社 長野統括支社
PPR-034	廃棄物の収集運搬、処理、リサイクルサービス (・一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬(排出事業場から処理施 設への運搬) ・一般廃棄物、産業廃棄物の処理(破碎処理・圧縮固化) ・一般廃棄物、産業廃棄物の焼却処分、埋立処分 ・廃棄物の再資源化(古紙・ビン・缶・スクラップ、プラスチック類 の再資源化))	2009年8月12日	2009年12月頃	株式会社 内海清掃	・株式会社 内海清掃
PPR-035	ユニフォーム (ユニフォームとは、企業・官公庁・その他団体等で「業務用」とし て着用される衣服、及び学校の制服・標準服をいう。但し、不織 布製の製品等、使い捨て用途の衣服は定義に含まない。)	2009年8月12日	2009年11月 PCR認定申請中	株式会社チクマ	・株式会社チクマ ・株式会社アシックス ・ミズノ株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-036	<p>ポータルサイト・サーバ運営におけるサービスの一種であるICTホスティングサービス</p> <p>(・ICTホスティングサービスは、データセンタ等に集約したICT機器構成を企業との契約時に設定する能力量に応じて分配し、企業がこれを自社のICTシステムの実行、あるいは企業から他社・個人等に向けた各種情報サービスの提供に対する利用の権利を供するものである。</p> <p>・サービスを構成する主たる要素は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> - サーバ・ストレージ・ネットワーク等所謂ICT機器 - システム及び機器の保守運用に関わる設備環境等) 	2009年8月12日	2009年12月頃	日本ユニシス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ユニシス株式会社 ・株式会社日立製作所 ・富士通株式会社 ・株式会社富士通研究所 ・日本電気株式会社 ・株式会社NTTデータ ・日本電信電話株式会社 ・社団法人情報サービス産業協会
PPR-037	<p>ペットボトル再生カーペット</p> <p>(廃PETボトルを原料としたタフトカーペットの生産及び販売 【製品例】：折りたたみカーペット、丸巻カーペット、ラグマット、玄関マット、機能性カーペット(抗菌、消臭、防カビ、防ダニ、アレルギー不活、保湿、難燃、清涼、吸湿発熱、防音) 範囲に含まないもの：じゅうたん、立毛織・編物(モケット、マイヤーボア等))</p>	2009年8月13日	2010年1月頃	根来産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・根来産業株式会社 ・株式会社タイネゴロ ・天津根来環境有限公司
PPR-038	<p>鉛蓄電池リユースサービス</p> <p>(据置鉛蓄電池(JIS C 8704-1、JIS C 8704-2)および電気車用鉛蓄電池(JIS D5303-1)をリユースして再商品化したもの。解体・分離等の工程を含む再資源化による再利用製品は含まない。使用済鉛蓄電池の回収からリユースバッテリーの納品までのプロセスを対象とする。)</p>	2009年8月13日	2009年12月頃	株式会社浜田	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社浜田 ・高山運輸株式会社
PPR-039	<p>ハム・ソーセージ類</p> <p>(・ハム類(骨付きハム、ボンレスハム、ロースハム、ショルダーハム及びラックスハム) ・ソーセージ類(ボロニアソーセージ、フランクフルトソーセージ、ウインナーソーセージ) ・包装フィルム・トレー等の容器包装及び商品に添付されるタレ等を含む)</p>	2009年8月13日	2009年11月 PCR認定済 (PA-AI-01)	日本ハム株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ハム株式会社
PPR-040	<p>ノートブック</p> <p>(・事務用学用紙製品 ・JIS規格S5504に規定あり)</p>	2009年9月2日	2009年12月頃	全日本紙製品工業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・コクヨS&T 株式会社 ・アビカ 株式会社 ・オキナ 株式会社 ・ショウワノート 株式会社 ・マルマン 株式会社 ・キョクトウ・アソシエイツ 株式会社 ・株式会社 中部ノート ・全日本紙製品工業組合

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-041	金属製容器包装 (・内容物を保護して消費者に提供するための金属を主原料とする容器包装。 ・主として飲料用および食品用金属缶。なお、エアゾール缶、一般缶、チューブ、18L缶等については別途必要に応じて追加検討する。)	2009年9月2日	2009年12月頃	社団法人日本製缶協会	・社団法人日本製缶協会 ・東洋製罐株式会社 ・大和製罐株式会社 ・北海製罐株式会社 ・ユニバーサル製缶株式会社 ・昭和アルミニウム缶株式会社 ・武内プレス工業株式会社
PPR-042	汎用鋼管杭 (繰り返し利用することを前提として作られた、構造物の固定等において使用される 150 mm以下の金属製の杭。主に建設・土木・測量・農業・林業・防災・屋外広告・イベント等で使用されるもので、建築物の基礎杭は含まない。)	2009年9月28日	2009年12月頃	君岡鉄工株式会社	・君岡鉄工株式会社
PPR-043	木材製品(木質部材) (製材品、集成材、合板、パーティクルボード、繊維板、防腐処理木材)	2009年9月29日	2010年5月頃	特定非営利活動法人 才の木	・特定非営利活動法人 才の木 ・社団法人全国木材組合連合会 ・日本合板工業組合連合会 ・日本集成材工業協同組合 ・日本木材防腐工業組合 ・日本木材輸入協会 ・日本繊維板工業会
PPR-044	複合再生プラスチック製の番木 (産業界から発生する産業廃棄物、廃プラスチック(ポリエチレン・ポリプロピレン)を回収し、粉碎・洗浄・溶解した、複合再生プラスチックを素材とする合成木材。【用途】:鉄鋼・造船鋼材製品の緩衝材、枕木、梱包スキット材、自動車用金型置き台用の番木等)	2009年10月2日	2009年12月頃	川瀬産業株式会社	・川瀬産業株式会社
PPR-045	木材・プラスチック再生複合材 (【定義】:廃棄物として発生した木質系原料及び熱可塑性プラスチックを主原料として再生複合した製品 【木質系原料】:建築解体廃材、剪定枝、木材製造工場端材及び草本系植物由来のサトウキビバガス等 【プラスチック系原料】:家電リサイクル、容器包装リサイクル、産業廃棄物などから得られる再生熱可塑性プラスチック 【用途】:主としてエクステリア、インテリア、土木用製品)	2009年10月8日	2010年3月頃	社団法人 日本建材・住宅設備産業協会	・社団法人日本建材・住宅設備産業協会 ・木材・プラスチック再生複合材普及部会 ・秋田ウッド株式会社 ・エア・ウォーター株式会社 ・永大化工株式会社 ・株式会社エコウッド ・積水樹脂株式会社 ・WPCコーポレーション株式会社 ・フクビ化学工業株式会社 ・文化シャッター株式会社 ・株式会社ミサワテクノ ・ミサワホーム株式会社 ・YKK AP株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-046	飼料用リジン (醗酵法によって製造されるL-リジン塩酸塩結晶(純度98.5%以上)で、飼料用途に供されるもの。)	2009年10月8日	2009年12月頃	味の素株式会社	・味の素株式会社
PPR-050	PETボトルリサイクルフレック及びベレット (容器包装リサイクル法に基づき回収されたPETボトル屑のみを原料とする。 容器包装リサイクル法の指定法人(財団法人容器包装リサイクル協会)に認定登録されているPETボトル再商品化事業者にて日本国内で製品化されたものを製品とする。 範囲は市町村の集積所での引き取りから再商品化した製品の出荷までとする。 JIS法(K7390)に基づく試験方法にて設定した基準を上回る製品であること。)	2009年10月27日	2009年12月頃	廃PETボトル再商品化協議会	・廃PETボトル再商品化協議会 ・北海道ペットボトルリサイクル株式会社 ・JFE環境株式会社 ・小島産業株式会社 ・日本合繊株式会社 ・西日本ペットボトルリサイクル株式会社 ・株式会社ジー・エス・ピー ・ジャパンテック株式会社 ・小山化学株式会社 ・有限会社石井運輸 ・株式会社丸幸 ・東京ペットボトルリサイクル株式会社 ・JFE環境株式会社 ・小島産業株式会社 ・日本合繊株式会社 ・西日本ペットボトルリサイクル株式会社 ・株式会社沖縄計測 他廃PETボトル再商品化協議会員
PPR-051	再生プラスチックコンパウンド成型材料 (・マテリアルリサイクル材(プラスチック類) ・産業廃棄物・一般回収品等から発生するプラスチックの原料化を行い自動車業界・文具業界・産業資材業界等で使用できるコンパウンド原料・再生プラスチック。基本、使用済みプラスチックを100%使用している物とする。)	2009年10月27日	2010年2月頃	株式会社近江物産	・株式会社近江物産
PPR-052	紫外線照射型の空気清浄機 (空気清浄機のうち、紫外線ランプを照射して、カビや雑菌等、室内を浮遊する菌を減少させるもの。)	2009年10月27日	2010年2月頃	アイフィールドカンパニー株式会社	・アイフィールドカンパニー株式会社 ・株式会社依田工業所 ・DCS CORP.
PPR-053	花き (切り花、切り葉、切り枝、球根、鉢物、花き苗、芝、植木など美観の創出ないし維持又は緑化などに供する目的で栽培されている植物。)	2009年10月28日	2010年1月頃	一般社団法人日本フローラルマーケティング協会	・一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 ・イオン株式会社 ・丸夕田中青果加工株式会社 ・JA宮崎経済連

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-054	消火器 (日本標準産業分類:2591 消火器具)	2009年10月30日	2010年2月頃	株式会社初田製作所	・株式会社初田製作所
PPR-055	封筒 (紙製の一重及び二重の封筒(JIS規格S5502))	2009年10月30日	2010年2月頃	全日本紙製品工業組合	・株式会社イムラ封筒 ・オキナ株式会社 ・菅公工業株式会社 ・寿堂紙製品工業株式会社 ・株式会社キングコーポレーション ・株式会社マルアイ ・ハート封筒株式会社 ・株式会社山櫻 ・コクヨS&T株式会社 ・全日本紙製品工業組合
PPR-056	雪氷保存用断熱シート (夏場の冷熱源として利用する等、冬場の雪を保存するための断熱機)	2009年10月30日	2010年2月頃	株式会社小川テック	・株式会社小川テック
PPR-057	土壌環境改善資材 (土壌から掘削産出した腐植土を原材料とし、汚水浄化、悪臭防除、汚泥改質、余剰汚泥減少等を目的とした土壌環境改善資材。化学的に製造された資材を原材料とするものは含まない。)	2009年10月30日	2010年2月頃	エンザイム株式会社	・エンザイム株式会社
PPR-058	再生路盤材 (建設副産物(コンクリート殻、アスファルト殻)及びガラスカレットを原料とする。破碎施設へ投入後、手選別により不純物を除去し、振動ふるいにて粒度別選別して、再生クラッシャーラン・再生粒度調整碎石・再生砂・再生割栗石などの再生碎石及び再生埋め戻し代替材として使用される。該当範囲は、入荷 破碎 振るい分け 出荷。)	2009年10月30日	2009年12月頃	街クリーン株式会社	・街クリーン株式会社

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-059	コンベンション・イベント・展示会等の開催 (人が非日常的に、物・情報・文化などの共通目的をもって一定の場所に集合する催し。大会・会議・学会・研究会・研修会・講演会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・見本市・展覧会などのコンベンション・イベント・展示会等を開催すること。)	2009年10月30日	2010年2月頃	株式会社コンベンションリンケージ	株式会社コンベンションリンケージ
PPR-060	タオル製品 (一般消費財としてのフェイスタオル、バスタオル、ウォッシュタオル等タオル製品)	2009年10月30日	2010年2月頃	八木春株式会社	・八木春株式会社
PPR-061	うなぎの蒲焼 (養殖うなぎを生産し、蒲焼きの加工(包装を含む)を施したうなぎの蒲焼き)	2009年10月30日	2010年2月頃	生活協同組合連合会ユーコープ事業連合	・生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 ・生活協同組合 コープかながわ ・生活協同組合 コープしずおか ・生活協同組合 市民生協やまなし ・静岡うなぎ漁業協同組合 ・静岡県漁業協同組合連合会
PPR-062	電子血圧計 (人の血圧を測定して電気信号に変換し、表示する機器。)	2009年10月30日	2010年10月頃	テルモ株式会社	・テルモ株式会社
PPR-063	杭状地盤補強工法による小規模建築物の基礎地盤の補強工事 (【概要】セメント系固化材、鋼管、砕石等を用いて、地盤内に杭状の改良体を築造する工法。 【対象構造物】・延べ床面積500m ² 以下・高さ13m以下・軒高9m以下・3階建て以下 【築造する改良体仕様】・セメント系固化材の場合:直径400～800mm 改良長8m程度・鋼管の場合:直径D;改良長:130×D程度 ・砕石の場合:直径400～500mm程度;改良長5m程度)	2009年10月30日	2010年2月頃	株式会社サムシング	・株式会社サムシング ・株式会社サムシング西日本 ・株式会社サムシング四国 ・株式会社尾鍋組

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-064	浅層混合処理工法による小規模建築物の基礎地盤の補強工事 (【概要】主にセメント系固化材を表層地盤と攪拌混合することで基礎地盤を補強する工法。 【対象構造物】・延べ床面積500m ² 以下・高さ13m以下・軒高9m以下・3階建て以下 【築造する改良体仕様】・改良層厚:2m程度)	2009年10月30日	2010年2月頃	株式会社サムシング	・株式会社サムシング ・株式会社サムシング西日本 ・株式会社サムシング四国 ・株式会社尾鍋組
PPR-065	青果物(野菜及び果樹) (・野菜:きのこ類を除く以下とする(果菜類、葉茎菜類、根菜類) ・果樹:みかん、りんご、ぶどう、かき、なし、もも、くり、くるみなどの木本性植物 ・加工(洗い、カット、冷凍等)は除く。 ・光、温度を完全に調節する栽培方法で生産されたものは除く。 (例:LEDを使用した植物工場で生産されたレタス、かいわれだいこん・もやし))	2009年11月4日	2010年1月頃	J A 宮崎経済連	・J A 宮崎経済連 ・イオン株式会社 ・住商フルーツ株式会社 ・丸夕田中青果加工株式会社 ・一般社団法人日本フローラルマーケティング協会
PPR-066	便器 (・大便器:大便器のうち、タンク式便器、洗浄弁内蔵型便器、フラッシュバルブ式便器(左記3便器は、温水洗浄便座と一体となった便器も含む) ・小便器:小便器のうち、自動フラッシュバルブ式、手動バルブ式(左記2小便器は内蔵式含む) ・なお、キャビネットやカウンター、手洗器などを組み合わせたシステム商品は対象外とする)	2009年11月10日	調整中	日本衛生設備機器工業会	・日本衛生設備機器工業会 ・アサヒ衛陶株式会社 ・株式会社INAX ・株式会社九州INAX ・ジャニス工業株式会社 ・TOTO株式会社 ・TOTOサニテック/株式会社 ・パナソニック電工株式会社住建事業本部
PPR-067	印刷インキ (平版インキ、樹脂凸版インキ、金属印刷インキ、グラビアインキ、新聞インキ、スクリーンインキ、UVインキ、レジストインキ等の印刷インキの他に、印刷版を使用しない印刷インキも対象とする。 なお、筆記用インキ及びスタンプインキは対象としない。)	2009年11月10日	2010年3月頃	印刷インキ工業連合会	・印刷インキ工業連合会 ・ザ・インクテック株式会社 ・サカタインクス株式会社 ・太陽インキ製造株式会社 ・大日精化工業株式会社 ・DICグラフィックス株式会社 ・株式会社T&K TOKA ・帝国インキ製造株式会社 ・東京インキ株式会社 ・東洋インキ製造株式会社
PPR-068	無機性汚泥中間処理再生サービス (無機性汚泥を処理し、二次製品へ加工するサービス。 汚泥の受入から人工砕石といったリサイクル製品を出荷するまでのプロセスを対象とする。)	2009年11月19日	2010年2月頃	株式会社ソイル マネジメント ジャパン	・株式会社ソイル マネジメント ジャパン

商品種別算定基準(PCR)の登録の現状

PCR計画 登録番号	製品の種類の名称 (製品の詳細情報)	登録日	PCR原案完成 予定時期	申請代表者	計画実施事業者等
PPR-069	エアフィルタの洗浄再生 (各ビル、オフィスや工場等で使用されているエアフィルタは、使用後、廃棄処分されている。エアフィルタを超音波洗浄装置で洗浄することにより、産業廃棄物の削減、ごみの減量を提案する。)	2009年11月26日	2010年5月頃	三喜ゴム株式会社	・三喜ゴム株式会社 ・エーエフ工業株式会社
PPR-070	ゴムチップ (人工芝資材等に利用するゴムチップ、各種ゴム、タイヤ等の廃棄ゴムを主原料とした再生ゴムチップを含む。)	2009年11月26日	2010年2月頃	くろがね産業株式会社	・くろがね産業株式会社
PPR-071	プラスチック製日用品(雑貨) (台所用品、食卓用品、浴室用品、収納用品、洗濯用品、清掃用品、その他プラスチック日用品雑貨)	2009年12月3日	2010年2月頃	日本プラスチック日用品工業組合	・日本プラスチック日用品工業組合 ・株式会社オーエスケー ・リス株式会社 ・株式会社小森樹脂 ・国際化工株式会社 ・株式会社サンコープラスチック ・スクーター株式会社 ・株式会社伸晃 ・株式会社吉川工業所 ・新輝合成株式会社 ・株式会社台和 ・山崎産業株式会社 ・シンコハンガー株式会社 ・アイセン工業株式会社 ・ヤマト化工株式会社 ・アートナップ株式会社 ・関屋化学株式会社 ・アロン化成株式会社 ・岩崎工業株式会社 ・株式会社進興樹脂工業所 ・蝶プラ工業株式会社 ・株式会社エヌケープロダクツ
PPR-072	ストーン紙 (成分が炭酸カルシウム約70%以上、高密度ポリエチレン約30%以下、その他添加剤約数%を配合して作成された紙)	2009年12月3日	2010年2月頃	株式会社TBM	・株式会社TBM

商品種別算定基準(PCR)の認定の現状

本年12月3日現在15製品についてのPCRが認定済み。

今後、PCR原案策定計画登録が済んでいる製品から、順次PCR原案が策定され、PCR委員会において認定が行われる見込み。

“Webサイトアドレス: <http://www.cfp-japan.jp/calculate/authorize/pcr.html>”

認定 PCR 一覧

▶ PCR 認定について





▶ PCR 原案への意見公募

▶ 意見公募の結果報告

▶ 認定 PCR 一覧

認定PCR一覧

カーボンフットプリント算定・表示試行事業において、認定されたPCRは以下のとおりです。

No.	認定PCR番号	公表日	認定PCRの名称	認定PCR	CFP計算 キット
4	PA-AD-01	2009年11月10日	出版・商業用印刷物(中間財)		-
3	PA-AC-01	2009年9月4日	衣料用粉末洗剤		-
2	PA-AB-01	2009年9月4日	菜種油		-
1	PA-AA-01	2009年9月4日	うるち米(ジャポニカ米)		-

カーボンフットプリントマークを貼付した商品の事例

- 平成21年10月13日、試行事業における第1号案件として、うるち米(ジャポニカ米)、菜種油、衣料用洗剤にかかるカーボンフットプリントの算定結果及び表示方法に関して、有識者により構成される第三者委員会において検証が行われ、その内容が適当と判断された。
- これを受けて、平成21年10月17日よりカーボンフットプリントマークを貼付した下記の3製品について、市場流通を開始。



うるち米(ジャポニカ米)



菜種油



衣料用洗剤

カーボンフットプリントマークはカタログに表示されており、商品自体には貼付されていない。

出典:イオンホームページより

(参考)カーボンフットプリント制度に関する情報提供について

- カーボンフットプリント制度を広く情報発信し、更なる事業者及び消費者の認知度・理解度向上を図るため、Webサイトを開設。
(Webサイトアドレス: <http://www.cfp-japan.jp>)
- カーボンフットプリント制度の説明、PCR原案策定計画の登録、認定PCRの公開など、制度全体の情報を公開。

The screenshot shows the homepage of the Carbon Footprint of Products (CFP) website. At the top, there is a header with the CFP logo (123g CO₂) and the text "Carbon Footprint of Products 製品のCO₂の「見える化」カーボンフットプリント". Below the header is a navigation bar with links: HOME, CFPとは, CFP制度について, CFP制度への参加, CFP対象製品, and CFP関連規程. The main content area features a large image of a hand holding a small green plant against a blue sky, with the text "CO₂を見て、選ぶ。カーボンフットプリントが始まります。". Below this is a "WHAT'S NEW" section with a list of recent updates, including dates and descriptions of events and publications. To the right of the "WHAT'S NEW" section is a sidebar with links to "ISO関連情報", "海外の動向", "報道発表", "イベント情報", and "支援事業のご案内". At the bottom left, there is a section titled "CFPとは?" with the CFP logo and a brief explanation of the system.

123g CO₂ Carbon Footprint of Products 製品のCO₂の「見える化」カーボンフットプリント

HOME CFPとは CFP制度について CFP制度への参加 CFP対象製品 CFP関連規程

CO₂を見て、選ぶ。
カーボンフットプリントが始まります。

WHAT'S NEW

- 09/09/18 「カーボンフットプリント制度説明会開催のご案内」を公開しました(札幌、名古屋、高松、広島、滋賀)
- 09/09/04 認定PCRの公表について
- 09/09/04 「PCR原案策定支援事業(第三次)公募開始」のお知らせ
- 09/09/02 「PCR原案策定計画 登録済計画一覧表」を更新しました
- 09/09/02 「カーボンフットプリント制度説明会(9/14 東京 日経ホール)」受付締め切りました
- 09/09/01 「PCR原案策定支援事業 採択結果(第二次)」のお知らせ
- 09/09/01 「PCR原案への意見公募」を更新しました
- 09/08/25 「カーボンフットプリント制度説明会開催のご案内」を公開しました(9/14 東京 日経ホール)
- 09/08/21 「CO₂換算量共通原単位データベース(暫定版)」の公開について

ISO関連情報

海外の動向

報道発表

イベント情報

支援事業のご案内

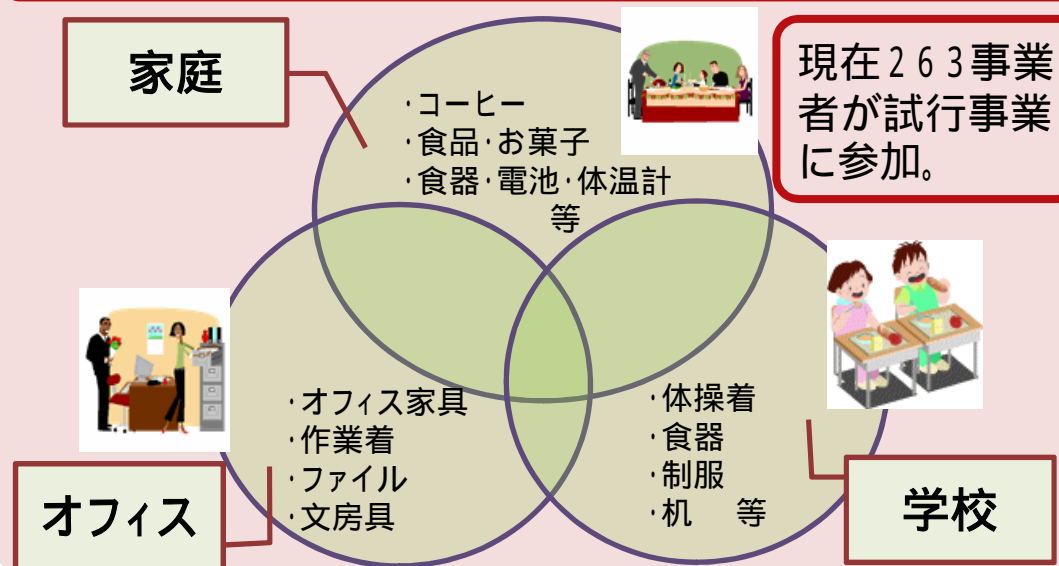
CFPとは?
Carbon Footprint of Products
の略称です。
商品及びサービスのライフサイクル全体で排出される温室効果ガスをCO₂に換算し、商品等にマークを表示します。

～エコプロダクツ2009 カーボンフットプリントコーナーのご案内～

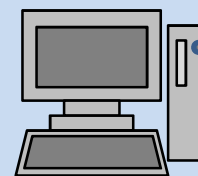
エコプロダクツ2009において、カーボンフットプリント貼付サンプル製品の展示や事業者からの説明を通じて、来場者に対して環境配慮型の購買・消費活動につながる製品販売・表示等の在り方について意識調査を行います。

1. カーボンフットプリント製品の展示

日常生活の大半の時間を過ごすオフィス・学校・家庭。その全ての空間で「見える化」が進んでいることが体感できる展示になっております。

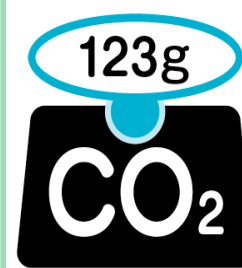


2. 算定キット体験コーナー



算定シュミレーションキットを用いてカーボンフットプリントの概要と算定方法を体験すると共に事業者のCO2削減努力がどのように行われているか、理解促進を図ります。

3. 表示の比較調査



表示・マークのあり方はカーボンフットプリントの重要なポイント。マークとしての多様な表示方法に関する比較調査を実施します。

4. その他イベントの開催

試行事業に参加している企業よりカーボンフットプリントへの自社の取組をブースにて説明。また、事務局から400名規模を対象に事業者・有識者・行政官を交えたパネルディスカッションを開催予定。

【開催場所】12月10日(木)～12月12日(土)10:00～18:00@東京ビッグサイト【東展示棟1ホール1-001】

・カーボンフットプリント制度説明会 12月12日10:00～12:00 @1階レセプションホールA

カーボンフットプリントコーナーの出展の位置(エコプロ2009)

カーボンフットプリント関連製品の展示、製品説明コーナー、簡易型の算定キット等を用意しております。是非とも、お立ち寄りください。

< 出展の位置 >

